

子どもの居場所である児童館の状況と活用について

答弁：地域との協働を念頭に市直営でイベントを実施し、当面の間、現状どおり運営してまいりたいと考えております。

子育て支援

吉田 健一 議員

吉田 公立の3児童館を見学させていただきましたが、児童館の活用に関心があり、児童館の活用に関心を感じました。予算が厳しい中、どのように施策を充実させていくのか、人をどう配置していくのか、状況によっては指定管理者制度を利用し、全く視点が違った中で児童館の活用というものを考えていけるのか、お伺いします。

昨年同時期と比較すると減少しておりますが、平成27年度までは順調に伸びております。また、イベントについては職員の創意工夫のもと、地域との協働を念頭に市直営で実施しております。利用者の推移を勘案しますとおおむね好評を得ていると認識しており、民間委託の導入については、メリット・デメリット、費用対効果、今後の利用者ニーズ等、また指定管理者制度という手法も含め、研究したいと考えております。当面の間は、現状どおり運営してまいりたいと考えております。

公立学童保育の待機児童ゼロに向けた考えは

答弁：希望する方は全員受け入れるという基本方針のもと、今後は今までの考えを根本的に変え、教育委員会と一緒に対応し、全力を挙げて対処してまいります。

子育て支援

松本 英子 議員

松本 新年度の公立学童保育の申請者1033人のうち、現在、約2割にあたる191人が、待機児童となっており、希望する全ての児童を受け入れていくべきであると考えています。そのためにも、さらなる施設の改善、指導員の処遇改善が必要と考

待機児童の出ている水深小、三俣小、大桑小などにおいて事態を解決するために、空き教室を探するなど、力を尽くしていただきたいと思っておりますが、考えをお伺いします。

市長 利用を希望する方を全員受け入れるという基本方針のもと、対応してまいります。また、予測を超える利用希望者の増加により、残念ながら多くの待機児童が発生しております。この問題は、施設と指導員確保の両面がそろわなければ解消はできませんが、特に指導員の確保の面で十分な状況に至っていないというのが現状でございます。

今後は、今までの考えを根本的に変え、教育委員会と一緒に対応していき、全力を挙げて対処してまいりたいと考えております。

調整区域内でアパート建設開発行為に対する市の考えは

答弁：市の人口動態や土地利用に影響を及ぼすことから、区域の見直しや建てられる建築物も含めて、適時適切に検討してまいりたいと考えております。

まちづくり

小林 利一 議員

小林 人口減少で需要が減少するはずのアパートの建設が増えているという異変が起きている中、市内全域において空家や空部屋が増えている現状です。郊外や市街化調整区域内でのアパート建設が増加しており、今後のまちづくりに支障をきたすのではと危惧してまいります。調整区域内でのアパート建設に規制をかけ、都市計画法第34条第11号区域の見直しを検討し、自然環境との調和も考慮していくべきと考えておりますが、今後の対策についてお伺いします。

建設部長 平成12年の都市計画法の改正により、市街化調整区域内の一部の区域における住宅等の開発を可能とする第34条第11号の基準が追加されました。この制度につきましては、市の人口動態や土地利用に影響を及ぼすことから、県の区域指定運用方針などにより、必要に応じて指定した区域の状況等の確認を行っております。今後も当該制度を有効かつ効果的に活用していく観点から、区域の見直しや建てられる建築物も含めて、適時適切に検討してまいりたいと考えております。

ゆきとどいた教育についての考えは

答弁：子どもにとって最大の教育環境は教員です。子どもたちのためにあらゆる教育資源を活用しながら、取り組んでまいりたいと考えております。

教育行政

及川 和子 議員

及川 新年度の教育活動補助員及び介助員の配置は、現場の声、児童・生徒の状況に応じた配置をし、代替教員の確保については、病休、産休を取得した教員が安心して復帰できるように、教育委員会に責任をもって当たっていただきたいと思っております。一番に考えることは、子どもたちが楽しい学校生活を送れるように教員の配置、また学習支援、生活支援の体制をとることだと思っておりますが、考えをお伺いします。

教育長 本市の将来にとつて、最大の宝は子どもたち

であり、教職員が一丸となつて指導や支援に努めてまいります。充実した教育活動を推進するため、代替教員を適切に配置するよう努めるとともに、個に応じたきめ細やかな指導の充実を図るため、教育活動補助員、障がい児介助員、幼稚園補助員を配置し、教育的ニーズに応えるよう積極的に支援しております。

子どもにとって最大の教育環境は教員です。子どもたちのためにあらゆる教育資源を活用しながら、取り組んでまいりたいと考えております。